

事業紹介・事業報告

第15回 日・韓建設技術セミナー



鈴木圭一
情報調査室
主任研究員

1. はじめに

日・韓建設技術セミナーは、JICEと韓国建設技術研究院（以下、KICT）両機関の建設技術交流を図り、さらには両国の友好と親善に寄与することを目的に1990年から奇数回は韓国、偶数回は日本で実施しております。第15回の日・韓建設技術セミナーは韓国での開催となりました。

2. 訪韓メンバー

今回のセミナーは、大石JICE理事長を団長とするJICE役職員9名が参加しました。

表-1 JICEからの参加者

団 長	大石 久和	理事長
副団長	安川 歩	情報調査室 室長
団 員	中山 修	情報調査室 次長
〃	高森 博之	研究第二部 上席主任研究員
〃	高橋 英徳	調査第一部 上席主任研究員
〃	佐古 俊介	調査第一部 主任研究員
〃	朝日向 猛	研究第一部 研究員
〃	福田 健	情報調査室 研究員
〃	鈴木 圭一	KICT対外協力室 交流研究員

3. セミナーの概要

第15回 日・韓建設技術セミナーは、平成16年9月7日にKICT本館の地下大講堂で開催されました。

セミナーの構成は、特別講演1課題（30分）、発表課題6課題（発表各20分、質疑応答各10分）、パネルディスカッション1課題（発表各20分、討論30分）とし、終日同時通訳で行われました。また、発表にあたっては、2台のスクリーンに日本語、韓国語がそれぞれプロジェクターで映し出され、実施されました。

当日のセミナーには、JICE訪韓団及びKICT役職員を

はじめ、課題発表及びパネルディスカッションのテーマに関係する研究機関や大学関係者等が参加しており、各発表の後に活発な質疑応答が行われました。



写真-1 発表風景



写真-2 発表風景

4. おわりに

今回のセミナーも、無事、成功裏に終わらせることが出来ました。

平成17年度は日本での開催となりますが、第16回セミナー開催におきましても、JICEとKICTの両機関が有意義な技術交流を実施していきたいと考えております。

最後に、第15回セミナー開催にご尽力いただいたKICT役職員の皆様はこの場をお借りしてお礼申し上げます。

表-2 第15回 日・韓建設技術セミナープログラム

内 容
<p><開会式> 歓迎の辞 李 承 宇 (KICT院長) 祝 辞 大石 久和 (JICE理事長) セミナー日程紹介 李 章 和 (KICT企画調整室長) KICT発表者紹介 李 章 和 (KICT企画調整室長) JICE発表者紹介 安川 歩 (JICE情報調査室長)</p>
<p>KICT事業概要 鄭 文 景 (KICT対外協力室長) JICE事業概要 安川 歩 (JICE情報調査室長)</p>
<p><特別講演> 韓国の持続可能な水資源研究開発事業の成果と展望 講演者: 金 勝 (水資源の持続的確保技術開発事業団長)</p>
<p><発表課題> 第1課題 「Bridge200研究事業」 発表者: 金 炳 錫 (KICT構造研究部長) 第2課題 「横浜ベイブリッジ鋼床版舗装に関する検討調査」 発表者: 高森 博之 (JICE研究第二部 上席主任研究員) 第3課題 「健康な水循環体系構築のための流域診断技法の開発研究」 発表者: 金 顯 峻 (KICT水資源研究部 首席研究員) 第4課題 「プレキャスト柔構造樋門の開発」 発表者: 高橋 英徳 (JICE調査第一部 主任研究員) 第5課題 「長寿命共同住宅設計システムの開発」 発表者: 金 洙 岩 (KICT建築研究部 首席研究員) 第6課題 「既存オフィスの住宅転用等の促進に向けた技術的方策に関する研究」 発表者: 朝日向 猛 (JICE研究第一部 研究員)</p>
<p><パネルディスカッション> テーマ: 河川堤防設計基準 座 長: 禹 孝 燮 (KICT水資源研究部 研究委員) 発表1 尹 光 錫 (KICT水資源研究部 前任研究員) 発表2 佐古 俊介 (JICE調査第一部 主任研究員) パネリスト討論及び質疑応答 金 圭 浩 (KICT企画調整室 研究管理チーム長) 尹 光 錫 (KICT水資源研究部 前任研究員) 中山 修 (JICE情報調査室 次長) 佐古 俊介 (JICE調査第一部 主任研究員)</p>
<p><閉 会></p>



写真-3 パネルディスカッション討論風景

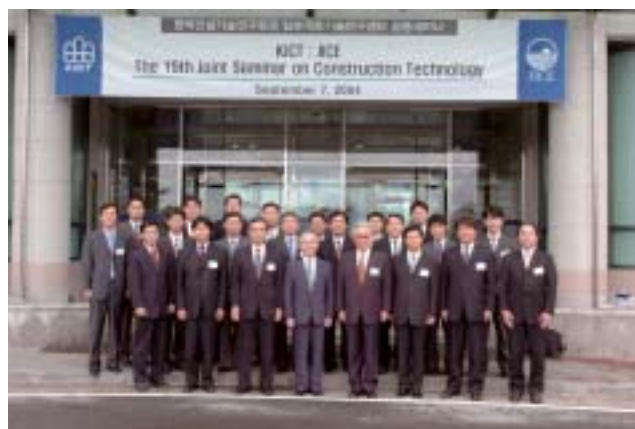


写真-4 集合写真 (KICT本館正面玄関)